



No.253
2015年 7月14日

江 区 労 連 東

ニュース

江東区労働組合総連合
〒135-0011 江東区扇橋 1-12-20
江東教育会館内
Tel.03-5606-5285 Fax03-3649-0131



第2部交流会で歌うJALというそら合唱団の仲間 (15/06/24)

業メーカーのやることか！という怒りが広がりました。市川事件は最高裁で不当にも敗訴が確定していますが、全国事件は中央労働委員会が審査が続いています。中労委闘争で勝利し、最高裁で敗訴した市川事件も含めた全面解決を目指しています。



5月からはじまった全労連初級教育講座「わくわく講座」。江東区労連でも江東区職労と共に、6月からスタートしました。第1回は6名と少なめでしたが、7月6日に行われた第2回には10名が参加、第2章・労働者・労働組合の権利について学習しました。マンガもありわかりやすく、章立ても短いので、読み合わせして、質問・意見など出し合いました。たとえば、憲法27条の勤労の権利については述べられているが、義務についてはどう考えたらよいのか？、スト以外の団体行動には

全労連 わくわく講座スタート

第3期江東労働学校として開催

高岡岑郷さん
病気のため、6月26日亡くなりました。80歳。
高岡さんは、都教組江東支部出身。82年に江東統一労組懇の結成に尽力。結成後は代表委員、議長をつとめ、江東の闘うローカルセンターの結成に力を注ぎました。その後、都教組委員長になり、東京労連準備会発足後、事務局長を歴任。全労連につながる東京の闘うローカルセンターの結成に尽力。東京大空襲記念集会の企画準備、東京革新懇事務局長、代表世話人などをつとめました。謹んでお悔やみ申し上げます。

江東区労連は6月24日、カメリアプラザで「江東区労連争議団励ますつどい」を開催し、明治乳業・JALの争議団の仲間、加盟組合の仲間など95人が参加しました。つどいは、区労連青年部の松井さんと日本機関紙印刷所労組の大久保さんの若い仲間の進行で始まりました。内田江東区労連副議長の開会のあいさつのもと、明治乳業争議団・小関団長とJAL不当解雇撤回

争議団・細井さんからそれぞれの争議の報告が行われました。明治乳業争議は40年も前に会社の中で、会社の労働条件を良くしようと労働組合活動の中で闘った仲間に対する昇給・昇格差別との闘いです。会社は社員を「赤組・白組・雑草組」と分けて、赤組を徹底的に職場の中で排除し差別してきました。その赤裸々な資料を小関さんが読み上げると「えーっ」といふどよめきが……。社会的責任のある乳業



整理解雇四要件が争いにもかかわらず、裁判所が決めた管財人がやったことだから正しい」と内容に踏み込まずに解雇を正当だとする一審判決が最高裁でも確定しました。しかし一方で管財人が「ストをやるなら支援しない」と労働組合の正当なストライキ権に介入した問題では一審・二審とも勝訴判決がでました。現在会社は最高裁に上告。細井

明治乳業・JAL争議を勝利させよう！

江東区労連・区内争議を励ますつどい開催

さんはJALの体質を告発し、一日も早い職場復帰めざす決意を述べました。

第2部ではJAL争議団合唱団というそら合唱団による、ユースでスタート、お酒も入りながらの交流タイムです。その中で、郵政ユニオン新東京支部の仲間が「労働契約法20条裁判」について、郵政職場は非正規が多い、同じ業務をしながら、賃金や契約期間などの差別があり、是正させたいと報告。またHPへの派遣を13年も繰り返して派遣切りであった地域労組ことうの青木さん、第一興商での上司のパワハラと闘い、残業代未払いを請求している関川さんが紹介され、決意を述べました。

江東区労連に寄せられた2014年度の労働相談結果

2014年度の労働相談は111件と13年度の95件を16件上回りました。労働相談を通じて組合に加入した人は52名でした(地域労組こうとうの年間加入者は65人ですが、協力組合員を含みます)。前年度とほぼ同様の数字です。今回も同じ職場からの複数加入したケースがあります。

〈相談内容〉(複数回答)

1. 労働契約賃金労働条件	33	6. 配転・出向など	1	11. 福利厚生	1
2. 解雇・雇止め・退職強要	37	7. 健保・年金・雇用保険	1	12. 労使問題・交渉促進	0
3. 賃金・残業代未払い	23	8. 労災・過労死	13	13. 組合加入・結成	15
4. リストラ・合理化	1	9. 休日・休暇	12	14. 会社倒産・破産	2
5. いやがらせ・いじめ・セクハラ	23	10. 産休・育休・介護・私傷病	4	15. その他	8

相談内容では、「解雇・雇止め・退職」に関するものが37件(33.3%)と再びトップとなり、2位が「労働契約・賃金・労働条件」に関するもの33件(29.7%)、「いじめ・嫌がらせ・セクハラ」と「賃金・残業代未払い」が同率3位で23件(20.7%)となっています。労災等の問題も13件と目立ちました。

〈男女比〉

男女比は、男性72件(64.8%)と3分の2近くを占め、年々増加しています。

1. 男性	72	2. 女性	37	3. 性別不明	2
-------	----	-------	----	---------	---

〈どこで江東区労連を知ったか?〉

1. 区労連リーフ	1	5. 労働相談情報センター	3	9. NTT調べ	1
2. 区労連HP	13	6. 労働組合	13	10. その他	4
3. 全労連ホットライン	11	7. 組合員	43	内訳)街頭相談会など	
4. 民主団体・政党	9	8. 友人・知人	13		

ここ数年組合員からの相談が増えています。一度トラブルで解決しても、再び別の会社でトラブルに巻き込まれたという事例もあります。また組合員の友人・知人からの相談も目立ちます。これは地域労組こうとうの組合員が増えていることが大きな要因です。

〈就業の形態〉

1. 正規	62	5. 個人請負	0	9. 経営者・管理者	0
2. 派遣	12	6. パート・アルバイト	18	10. 失業中	2
3. 契約	9	7. 公共臨時	0	11. 不明	1
4. 委託	3	8. 労組役員	4		

就業の形態としては、正規が62件(55.9%)と過半数を超えています。正社員でもトラブルに合うケースが増えていることを示しています。非正規も合計すると46件(41.4%)であり、非正規労働者の比率をそのまま反映した形となりました。

2014年度の労働相談・解決は23件

労働相談を受けて、組合(地域労組こうとう)に加入して団体交渉等を申し入れて解決した事例は23件でした。6件は東京地裁の労働審判に申し立てて、そのすべてが調停成立し終了しました。

社内労組があるため、公然化しないで、東京都労働相談情報センター亀戸事務所にあっせんを申し入れて解決した事例が1件ありました。

残りはすべて団体交渉を行い、会社と合意して解決しました。解雇事件の多くは、合意退職して、会社が解決金を支払う事で合意したケースがほとんどですが、解雇を撤回して、今でも会社で在籍しているケースもあります。

現在、継続中は団交中が7件、労働審判申立て中が1件、本訴申立てが2件ですが、これは増える可能性があります。

【解決事例】
■業務中の粉塵で体調崩す(正規・男性・他労組紹介)
4月に相談。本人は退職希望だが退職させてくれない。組合として交渉を行った結果、有給休暇消化と退職金の乗せを行い、円満に退職することになった。

■イジメでメンタルヘルス不全(パート・男性・組合員の紹介)
4月に相談。同僚正社員との関係で体調崩す。残業代の未払いもある。組合として交渉した結果、社保に加入し1年間是在職休職させる。傷病手当金受給に協力。未払い残業代を解決金として支払う。休職中の公租公課の本人負担分は会社が負担する等で合意した。

■新たな相談事例
派遣先のイジメ問題を相談したら派遣切り(派遣・女性・)

江東区労連の大会が終わり、新年度がスタートして以降労働相談は増加の一途をたどっています。そのいくつかを紹介いたします。

労働相談の粉塵で体調崩す(正規・男性・他労組紹介)
4月に相談。本人は退職希望だが退職させてくれない。組合として交渉を行った結果、有給休暇消化と退職金の乗せを行い、円満に退職することになった。

イジメでメンタルヘルス不全(パート・男性・組合員の紹介)
4月に相談。同僚正社員との関係で体調崩す。残業代の未払いもある。組合として交渉した結果、社保に加入し1年間是在職休職させる。傷病手当金受給に協力。未払い残業代を解決金として支払う。休職中の公租公課の本人負担分は会社が負担する等で合意した。

新たな相談事例
派遣先のイジメ問題を相談したら派遣切り(派遣・女性・)

労働相談の粉塵で体調崩す(正規・男性・他労組紹介)
4月に相談。本人は退職希望だが退職させてくれない。組合として交渉を行った結果、有給休暇消化と退職金の乗せを行い、円満に退職することになった。

イジメでメンタルヘルス不全(パート・男性・組合員の紹介)
4月に相談。同僚正社員との関係で体調崩す。残業代の未払いもある。組合として交渉した結果、社保に加入し1年間是在職休職させる。傷病手当金受給に協力。未払い残業代を解決金として支払う。休職中の公租公課の本人負担分は会社が負担する等で合意した。

新たな相談事例
派遣先のイジメ問題を相談したら派遣切り(派遣・女性・)

労働相談の粉塵で体調崩す(正規・男性・他労組紹介)
4月に相談。本人は退職希望だが退職させてくれない。組合として交渉を行った結果、有給休暇消化と退職金の乗せを行い、円満に退職することになった。

イジメでメンタルヘルス不全(パート・男性・組合員の紹介)
4月に相談。同僚正社員との関係で体調崩す。残業代の未払いもある。組合として交渉した結果、社保に加入し1年間是在職休職させる。傷病手当金受給に協力。未払い残業代を解決金として支払う。休職中の公租公課の本人負担分は会社が負担する等で合意した。

新たな相談事例
派遣先のイジメ問題を相談したら派遣切り(派遣・女性・)

労働相談の粉塵で体調崩す(正規・男性・他労組紹介)
4月に相談。本人は退職希望だが退職させてくれない。組合として交渉を行った結果、有給休暇消化と退職金の乗せを行い、円満に退職することになった。

イジメでメンタルヘルス不全(パート・男性・組合員の紹介)
4月に相談。同僚正社員との関係で体調崩す。残業代の未払いもある。組合として交渉した結果、社保に加入し1年間是在職休職させる。傷病手当金受給に協力。未払い残業代を解決金として支払う。休職中の公租公課の本人負担分は会社が負担する等で合意した。

新たな相談事例
派遣先のイジメ問題を相談したら派遣切り(派遣・女性・)

労働相談の粉塵で体調崩す(正規・男性・他労組紹介)
4月に相談。本人は退職希望だが退職させてくれない。組合として交渉を行った結果、有給休暇消化と退職金の乗せを行い、円満に退職することになった。

イジメでメンタルヘルス不全(パート・男性・組合員の紹介)
4月に相談。同僚正社員との関係で体調崩す。残業代の未払いもある。組合として交渉した結果、社保に加入し1年間是在職休職させる。傷病手当金受給に協力。未払い残業代を解決金として支払う。休職中の公租公課の本人負担分は会社が負担する等で合意した。

新たな相談事例
派遣先のイジメ問題を相談したら派遣切り(派遣・女性・)

労働相談の窓口から

労働相談ホットライン

派遣先のイジメ問題を派遣先のコンプライアンス室に相談したら、まもなく契約期間満了通知。団交申入れて交渉中。これまでに34回更新。

アルハラ(正規・女性・組合員)
6月から入社した会社で、「飲み会」を断ったところ、「飲み会を断ると昇進しない」と上司に言われ、おかしいと指摘したら退職勧奨にあつた。社長と直接交渉したところ、半年分の給料を支払い円満退職することで合意したと報告。

長時間労働(正規・女性・組合員の紹介)
テーマパークのパレードで使う装飾物の製作・販売・営業を行う会社。シーズンになると朝の8時〜翌朝の5時まで働き一ヶ月休みなしという時もあるが、一円も残業代が払われない。お金もあるが、人を入れて労働時間短縮を。

暴力(正規・男性・全労連ホットライン)
タクシー運転手。入社時から社長と専務からなぐる蹴るの暴力をふるわれる。東京労働局に斡旋を依頼したが、不調に終わった。現在は解決するまで休職すると宣言し、休んでいる。組合に加入して交渉申入れ予定。

次回ニュース等で紹介しますが、職場に労働組合が誕生しました。12人で地域労組こうとうの分会結成です。

「戦争立法」許すな!

7月25日には区民パレードも

安全保障立法」の名の下に国会で審議されている戦争立法。安倍政権は国会を95日も延長して何がなんでも成立させようと躍起になっています。

この間、国会の参考人質疑で、与党推薦の憲法学者も含め、3人が皆そろって集団的自衛権行使は憲法違反だと明確にのべました。さらに、

自民党の勉強会に出席した作家の百田尚樹氏が、沖繩の2つの地方紙をつぶせ」と述べたことが大問題となり、国民の世論は圧倒的多数が戦争立法に反対を表明、直近の世論調査でも安倍内閣支持率は低下し、毎日新聞ではついに支持と不支持が逆転しました。7月4・5調査。

江東地域でも戦争立法反対

対の大きな世論を作ろうと7月25日には猿江公園を出発する1000人パレードを行う実行委員会が発足しました。

戦争法案ぶっ潰せ江東
行動1000人パレード
日時:7月25日(土)17時
集合:17時30分
パレード出発
場所:都立猿江公園

トピックス

◆江東区労連第1次「青木」
ホットライン宣伝行動

江東区労連は6月26日、今年度最初の「青木」組織化宣伝行動を行い5駅に6労組18名が参加、1125部のチラシを配布しました。今回は労働者派遣法改悪反対の宣伝を行いました。

◆最賃・公契約条例を求める宣伝行動

東京土建江東支部・江東区職労は6月25日、江東区役所前で行い、8名が参加し、チラシ100部を配布しました。